



スペイン マドリッド
インディー・フィルムフェスティバル
2020 中編部門ノミネート



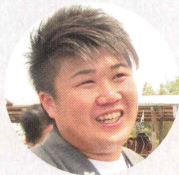
大阪 門真国際映画祭 2020
ドキュメンタリー部門 優秀作品賞



伊藤有紀 監督作品

おれらの多度祭

—小山地区・三年間の記録—



織田信長の焼き討ちとコロナ以外、
七百年ちかく途絶えず続く祭の記録。



みんな、
ここに
いる。

後援 三重県

出演 多度町小山地区の皆さん

イラスト 鹿野真衣

ドキュメンタリー映画 / カラー / 60分

製作・配給宣伝 オフィスアリガト

上映統括 多度ふるさと塾

地域・伝統・青春一

南北朝時代から続く

多度祭の上げ馬

三重県桑名市多度町の多度大社にある上げ坂で毎年5月4・5日に行われる。町内6地区がそれぞれ騎手1名を選出し、人馬一体となり約2メートルの崖越えに挑む。コロナ感染拡大防止のため2020、2021、2022と休止中である。

命がけの神事。

"全篇にみなぎるディオニソスの興奮"

キネマ旬報 2021年7月下旬号「文化映画紹介」渡部 実

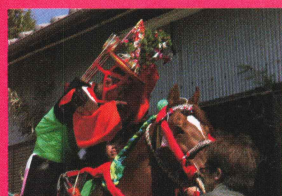
青年は馬に乗る。騒ぐ血潮。酒と艶歌に鼓舞されて励む若者の泥くささ。汗、涙。歴史と氏子の期待を一身に背負って、ひたすら神と繋がろうとする。行く手をはばむ上げ坂を超えようとして、狂ったように駆ける上げ馬。泥はそのとき一瞬、聖なるものの生贄となる。

山本 源太 (星野村 源太窯/詩人)



その一見、無謀な姿は、風車に向かって突進するドンキホーテのように、見るものに衝撃的な勇気を与えてくれる。

廣田 勇介 (カメラマン/山岳ガイド)



祭(伝統)を守り続けているのは、一人一人の心である。先人は温かく若者を見守り、若者は先人の守り続けた伝統の重さを、子どもの頃からの憧れと共に熱く受け取っていく。祭を経て若者はひとつ大人になっていく。

井上 良子 (福岡子どもの本や)



いつの間にか映画の中に引き込まれ、私も小山の青年団員になった気持ちで心が熱くなりました！

小寺 教夫 (山岳スキーレーサー)



祭りの熱を密封した映像。駆ける馬と騎手に「届け！」と叫ぶ。荒々しさと思いの強さが心に響く。形なきものを収める見事な手腕。乗り越える前と後では世界が違う。市井の人の勇猛果敢でドラマチックな姿を描く逸品。

奈須 崇 (門真国際映画祭 運営事務局代表)

©2022 オフィスアリガト 公式サイト orerano-tadomatsuri.com

2022年

5/27(金)まで販売

いつでもWEB割

特別鑑賞券 1300円

1400円

5/28(土)より連日10:20~

料金 / 一般・大学・高校:1500円 シニア・障がい者:1000円

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

